

多世代交流の里

すなまち

よっちゃん家だより

2019年
3月号

発行者 委員長 吉野義道
江東区東砂7-9-13
電話03-3644-9264
広報部 杉浦正年



『談話室』 インディアンのお話

お気に入りの一冊に「今日は死ぬのもってこの日」という本があります。ナンシー・ウッド女史が、インディアン達の言葉を描き留めたものです。大地に根差して生きる彼らの感性は、自然との調和を大事にしています。また何事を決めるのでも、自分亡き後の七代後の未来を見据えます。地域防災やまちづくりを考えるようになって四年の月日が経ちました。防災にしろ、まちづくりにしろ、よく耳にするのは「コミュニティの重要性」です。多くの人は言葉の上では大事さはわかっているのだと思います。けれど、自分の小さなアクションが孫世代やひ孫世代に大きな影響を与えているとは気づきにくいかもしれません。七代先とまではいかなくても、せめて三〇年後のまちの姿、一緒に考えてみませんか？



二月一日の子ども食堂は五十八名（スタッフを含め）の利用者となりました。この日のメニューはみんなの大好きなカレーライス、お代わりをする子どもが多くスタッフは大忙しでした。子ども食堂はどなたでもご利用になることができます。地域交流の拠点は広がりを続けています。ご飯の終わった子どもはゴム鉄砲の的当てゲームで遊びます。五発のうち三発が当たると貯金箱がもらえます。鉄砲も的も全て八木沢スタッフの手作りなんです。順番を守ろうとしない子どもにも八木沢スタッフはハッキリと「待ちなさい」と教えていたのが印象的でした。



「もしもの時の応急手当講習会」ご参加ください。日頃の生活の中で、もしもの時の解決法を消防士の方にご講習をお願いしました。『心肺蘇生法・異物除去方法・止血方法』などいざという時に慌ててしまわないよう地域のみんなと学ぶ。

日時：3月26日 午後15時～16時30分
会費：利用料100円 子ども 無料
会場：「砂町よっちゃん家」
講習後に お茶を飲みながら消防士と地域交流を予定

Nanaの会



委員長 吉野 義道



卒業や入学の時期となりました。子ども達には夢や希望や不安もある事と思います。勉強も遊びも部活も一生懸命頑張りました。う、しゃべり場が三月二十六日に開催されます。夕ご飯をたべお腹を満たしたら友だちとフリートークしましょう。日頃気になっている事はありますか、語り合いませんか。お喋りが苦手ならゲームをして楽しく過ごします。友だちを誘って参加して下さい。一月に開催された手づくり味噌には子どもと高齢者が一緒に味噌作り挑戦、お友だちに誘われて参加されたご婦人は初めてよっちゃん家を訪れたそうです。多世代交流が実現しました。体験型イベントを企画されたNanaの会、ご寄付されたみなさんありがとうございました。